



▼完成を控えた管理棟横の会場で植木や花苗などの競りを楽しむ参加者



絶妙な駆け引きで競りを満喫

甲佐町グリーンセンターで植木競り市の開所式

10月6日(日) 田口の甲佐町グリーンセンターで、今シーズンの競り市が始まりました。
同センターでは、毎年10月から翌年5月までの毎週日曜日に植木の競り市を開催。熊本地震により被災した同センターでは、新たな管理棟の工事が進められており、完成を控えた建物前で行われた開所式には約200人が参加しました。式では同センターを管理・運営する緑川森林組合の坂田鉄太郎代表理事組合長が「地域に根差した樹芸緑花木施設として新たなスタートとしたい」とあいさつ。

初競りでは、多くの参加者が競り人の掛け声に合わせて、出品された植木や花苗を競り落としました。

競り市には会員登録すれば誰でも参加でき、登録料は1シーズン2千円(会員用帽子込み)。再登録は千円。

▼お問い合わせ先

甲佐町グリーンセンター

096-234-0485

地域に残された古文書を読み解く

第18回『新甲佐町史』歴史研修会

9月28日(土) 町生涯学習センターで、第18回『新甲佐町史』歴史研修会が開催されました。

同研修会は、本町の今と昔を考え成り立ちを追うことを目的に町教育委員会が主催。

今回は「地域に残された古文書の大切さ—緒方家文書整理作業からみえてきたもの—」と題し、熊本大学准教授の三澤純さんが講演。約60人が受講し、町指定文化財「緒方家文書」に残された当時の庶民の暮らしの様子について学びました。



▲緒方家文書の記述について解説する講師の三澤さん



◀杉本隊長(右)から回覧板を受取った西住代表区長

地域住民のつながりを支援

「家のことならなんでん隊」が回覧板を寄贈

10月17日(木) 町長室で、回覧板の贈呈が行われました。
甲佐町商工会の「家のことならなんでん隊」(杉本代表隊長)が行政区回覧で役立ててもらおうと企画し、甲佐町区長会(西住幸郎代表区長)へ回覧板400個を贈呈しました。
同隊は町内の住宅関連サービスを提供する18社が参加しており、住宅の新築やリフォームなどについて地域住民を支援することを目的に活動しています。
新しい回覧板を受け取った西住代表区長は「回覧板がなくて困っていた行政区もあるので大変助かります」と感謝の言葉を述べました。

緑あるやすらぎの場を

令和元年度上益城地域植樹祭

10月12日（土）町生涯学習センターで令和元年度上益城地域植樹祭が開催されました。

同植樹祭は、森林や植樹などについて地域住民の理解を深めることを目的に、町と上益城地域みどり推進協議会（上野晋也会長）が主催。同協議会委員や郡内の緑の少年団など約80人が参加しました。

式典で上野会長は「植樹された木々が多くの方に愛されることを祈念します」とあいさつ。式典後、参加者は役場西側遊歩道沿いにツツジとヤマボウシの記念植樹を行いました。



▲ヤマボウシを記念植樹する上野会長（左）ら



▲中横田区の取り組みを紹介する松永区長（右）

地域の介護予防で意見交換

第2回上益城地域町民公開講座パネルディスカッション

9月28日（土）御船町カルチャーセンターで、第2回上益城地域町民公開講座が開催されました。

同講座は郡内5町からの委託事業として上益城郡医師会が実施。「上益城地域の介護予防と在宅医療について」をテーマとしたパネルディスカッションでは、中横田区の事例が紹介されました。

同区（松永博文文区長97世帯）では、平成28年から住民主体で「いきいき百歳体操」や認知症予防ゲームなどによる介護予防活動を継続的に実施しており、先進的な取り組みとして評価されています。

全国大会・九州大会に出場

軟式野球・野仲選手と水泳競技・仲原選手が活躍



▲日本スポーツマスターズに出場された野仲選手（左）と九州ジュニア水泳競技大会に出場された仲原選手

町内の2選手が全国大会と九州大会で活躍しました。

9月21日（土）～23日（月）日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会軟式野球（岐阜県）に、「トウヤクラブ40B」の野仲俊之選手（上早川四区）が出場しました。

野仲選手は、9番二塁手として先発出場。大会後、「40代半ばを迎えましたが、この年齢になっても全国の舞台を味わえるのは格別です。これからもチャレンジする気持ちを忘れず、更に上を目指していきたいです」と今後の抱負を力強く話しました。

10月5日（土）・6日（日）に開催された第51回九州ジュニア水泳競技大会（長崎県）には、仲原乙葉選手（中横田区・甲佐中3年）が出場。

仲原選手は、13～15歳の部の200m自由形と400m自由形に出場。「中学生生活最後の九州大会でしたが良い結果が出せず悔しいです。これまで支えていただいた家族やコーチ、仲間へ感謝しています」と大会を終えて感想を語りました。